



宿題確かめ表

9月16日～9月22日

サイン		今 週 の 宿 題	提出
	1	音読 教科書 P105～123	○
	2	漢字学習ノート P56～P59 (招・迷・夢・独・個・提・寄)	○
	3	ワークシート「たずねびと(1)・(2)・(3)・(4)」	○
	4	言葉と文「漢字を組み合わせた言葉①・②」	○
	5	言葉の意味調べ「漢字の広場2」	○
	6	日々のことを記録しよう タイプして提出 Google Classroom	○
	7	都道府県を調べよう㊹ 「三重県」	○
	A	NHK for school 「見えるぞ! ニッポン 三重県～伊勢神宮～」を観る	
	7	都道府県ドリル㊹ 「三重県」	○
	B	NHK for school 「三重県 忍者の里」「三重県 伊勢志摩」	
	8	漢字のおさらい「3年生 ステージ3の(1)」	○
	9	漢字テスト⑮の練習 (←漢字を書くテスト⑮)	○
	10	漢字を読む⑮の練習 (←来週の漢字を読むテスト⑮)	
	11	漢字テスト⑭	○
	12	9月の歌「大きな古時計」を歌う (日本語教室のウェブサイトで練習)	

宿題の提出は9月22日まで



音読カード

きのうより上手に読めたかな

よくできた◎ できた○ もうすこし△

読んだところ (たずねびと・漢字の広場2)							
読 む め あ て	金	土	日	月	火	水	木
① しせい正しく							
② 大きな声ではっきりと							
③ 句読点で区切ってゆっくりと							
④ 正しくまちがえないで							
⑤ 内容が分かる							
おうちの人のサイン							

ステージ

□に漢字を書いて、文章を作りましょう。(答えは84ページ)

3年生

9	8	7	6	5	4	3	2	1
すい えい たい かい	クラスの ぜん いん	夏の花は き おん	大学へ しん かく	胸が がっ きゆう	しいので い いん	けん きゆう じよ	あん ぜん	えき いん
で	が	が高いとスクスク はたけ し ごと	する	が	しいので い しや	を願って たび	が子どもに ちゆう い	をしている。
を	を	をつ。	がある。	を	へ行く。	に入るには あん ごう	に出る。	
った。	をする。			める。		が必要だ。		

18	17	16	15	14	13	12	11	10
まつ	きよ ねん	非常 かい	せ かい	電気製品は でん きせい ひん	おく がい	この道を この みち	はし	かい がん
りの	は	段から だん から	各国には かくこく には	で	で	断すると だん すると	の	に
を	を	に出られる。	ぶん か	の時代より じだい より	とう きゆう れん しゆう	みなど に出る。	で	が
する。	した。		遺産が多くある。	した。	をする。	きができない。	ミ うご	れ いた。

漢字テスト ⑭

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	読むテスト ○線の漢字の読みがなを書きましょう。
川土手から橋に向かう。	泣き笑いみたいな表情。	画像や情報を検索する。	死者を祭る土まんじゅう。	生真面目に整理する。	相手の面食らった顔。	結局、身元は分からない。	平和学習で広島に行く。	放課後、学校に残った。	駅前広場を指さした。	

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①	書くテスト ○太い字を漢字で書きましょう。 (送りがないも書きましょう)
れきし	しょくいん	そつぎょう	しんぶん	とくべつ	ひつよう	おおぜい	かこむ	くらべる	ぎやくてん	

たずねびと (1)

● 次の文章を読んで、答えましょう。

(綾は、兄と二人だけで広島に向かった。)

⑦ 秋の空は高く青くすんで、ゆったり流れる川にも空の色がうつっていた。ほね組みがむきだしのドームがその場にあるのが不思議なくらい、明るくて晴れ晴れとした景色だった。

⑧ 「ここが爆心地なのか。ここて本当にたくさんの方が死んだの——。」

お兄ちゃんも、独り言みたいにつぶやいた。

「信じられないよな。水面が見えないくらい、びっしり人がういてたなんて。」

その川をわたって、慰霊碑にお参りしてから、まず平和記念資料館に向かった。

⑨ 資料館を半分も見えて回らないうちに、わたしは頭がくらくらしてきた。何もかも信じられないことばかりだった。



(1) ⑦ ——— とありますが、綾は、その様子をどのような景色だと感じましたか。文中から十三文字で書き出しましょう。

(2) ⑧ 「ここが爆心地なのか。」と考えたとき、綾はどんな気持ちでしたか。一つに○をつけましょう。

- () 多くの人が死んだ場所とは信じられない。
- () 爆弾が落ちたときを想像すると、こわい。
- () 多くの人の死が目にかんて悲しい。

(3) ⑨ ——— とありますが、綾の頭がくらくらしてきたのは、なぜですか。

● 次の文章を読んで、答えましょう。

(綾は、平和記念資料館の展示を見て回った。)

⑩ だけど、陳列ケースにならべられた、ご飯が炭化した弁当箱、くにやりとけてしまったガラスびん、八時十五分で止まったうで時計が、そして焼けただれた三輪車や石段に残る人の形のかげが、⑪ 「本当なんです。あなたは知らなかったの。」と問いかけてくるような気がした。原爆の閃光や熱風、四千度もの熱のせいで、この持ち主たちは、ほとんどみんな死んでしまったのだ。

⑫ たった一発の爆弾で、こんなひどいことになるなんて。

⑬ 展示の説明板には「この年の終わりにまでには約十四万人の人がなくなりました」とあった。八月六日の朝、被爆してすぐになくなった人だけではない。なんとか生きのびた人も、被爆もない市に入って残留放射線を浴びた人も、核物質をふくんだ黒い雨に打たれた人も、次々になくなってしまうのだと。「十四万人なんて、想像できないよ。」

(1) 綾が資料館の陳列ケースで見た展示品を、五つ書きましょう。

(2) ⑦ 「本当なんです。」とは、どんなことが本当のですか。一つに○をつけましょう。

- () 広島に原爆が落とされたということ。
- () 当時の広島には多くの人が住んでいたこと。
- () たった一発の爆弾で、多くの人が死んでしまったこと。

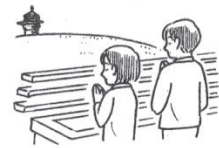
(3) ⑬ 原爆が原因でなくなった十四万人という数について、綾はどう感じましたか。

たずねびと (3)

● 次の文章を読んで、答えましょう。

(緑たちは、教えてもらった場所にやってきました。)

原爆供養塔は、小山の
ように大きな土まんじゅ
うだった。しばが植えて
あって、てっぺんには小さ
な石の塔が建ててあった。
二人で手を合わせてい



たら、聞いていたとおり、小さなおばあさ
んがそばに寄ってきた。手には、ほうきと
ちりとりを持っていた。おばあさんは、わ
たしたちがきくより先に口を開いた。

供養塔の土まんじゅうの下には部屋が
あって、身元の分からない、およそ七万
人の人々のお骨と、名前だけ分かつている
八百人余りの人々のお骨がおさめてあると
いう。

八百人余り——ポスターからメモに
取った数だった。

(令和二年度版 光村図書 国語五 銀河 朽木 祥)

(1) 原爆供養塔について答えましょう。

① どんな様子ですか。

〔 〕のように大きな

〔 〕で、てっぺんには、

小さな〔 〕が建ててある。

② どのような場所ですか。

原爆でなくなった、〔 〕の分らない約七万

人の人々と、〔 〕だけ分かつている約八百人

の人々の〔 〕がおさめられている場所。

(2) 原爆供養塔にいたおばあさんは何をしている
と考えられますか。一つに○をつけましょう。

() 供養塔の周りの草木を手入れしている。

() 供養塔のそうじだけでなく、おとずれた
人に供養塔のことを話している。

() 供養塔のそうじをしながらか、いたずらす
る人がいないか見張っている。

● 次の文章を読んで、答えましょう。

(おばあさんは、供養塔について話を続けた。)

「ここにさえ入れられなかった人もようけい
おりますが。あとかたものう焼かれたり、
川を流されていってしもうたり。数にも数
えられん。」とおばあさんは切なそうになげ
いた。「せめて名前の分かつとる人らは、い
つかだれかがむかえに来てくれはせんかと、
市もわたしらもずっとさがしとります。
むかえが来て、家族のところにもどった仏
さんもおらんことはないが——」

「何十年も、だれにもむかえに来てもらえ
ないなんて、どうしてなんですか。」

「もしかしたら、家族もみんなぎせいに
なったのかもしれないね。じゃが、今でも、
どこぞで帰りを待つとる人もあるかもし
れんと、望みはすてずにおりますかの。」

(令和二年度版 光村図書 国語五 銀河 朽木 祥)

(1) ア 「数にも数えられん。」とは、どのようなこ
とを意味していますか。一つに○をつけましょう。

() 数を調べる人がいない。

() 調べるほど数は多くない。

() 数としてすら記録されていない。

(2) ① 「切なそうに」とは、どのような様子のこ
とですか。一つに○をつけましょう。

() つらくてやりきれない様子。

() はげしいいかりをおさえている様子。

() かすかにほほえんでいる様子。

(3) ウ ———とありますが、市やおばあさんたち
は何をさがしているのですか。

供養塔におさめられているお骨のうち、

〔 〕人の家族

(4) エ ———とありますが、このあとには、どんな
言葉が省略されていると考えられますか。

実際にむかえが来て、家族のところにもどつ
た数は〔 〕ということ。

言葉と文 漢字を組み合わせた言葉 ②

漢字の表す意味

漢字には、いくつかの意味があります。

「着」の意味を調べてみましょう。

 <p>（服などをきる） コートを着用する。</p>	 <p>（身につける） どろが付着する。</p>
 <p>（自分のものにする） 店の金を着服する。</p>	 <p>（その場所にやってくる） 飛行機が着陸する。</p>
 <p>（そのことを始める） 研究に着手する。</p>	 <p>（ものごとく決まる） 決着をつける。</p>

④ このように、「着」は、いろいろな意味で使われています。

② ——— の漢字の意味を から選んで、記号を書きましょう。

(1) すぐにおこるところが、姉の短所だ。 ……

ア 長さや時間などがみじかい。
イ おとっている。欠点がある。

(2) 世界平和を願う。 ……

ア 高低や、でこぼこがない。
イ 争いなどがなく、おたやかである。

(3) 写真よりも実物が見たい。 ……

ア 草や木のみ。
イ ほんとうの。

(4) 三時に休息をとる。 ……

ア 休む。いこう。
イ 生きる。生活する。

① 次の「着」の意味に合うほうを選んで、○をつけましょう。

(1) 岩に海そうが付着している。

（ものごとく決まる。おさまる。）
○ くつつくこと。

(2) 白衣を着用してください。

（その場所にやってくる。とどく。）
（服などをきる）
（ものごとく決まる。おさまる。）
○ くつつくこと。

(3) 着陸時には、シートベルトをしめる。

（その場所にやってくる。とどく。）
くつつくこと。

(4) 新しい仕事に着手する。

（ものごとく決まる。おさまる。）
（新しい仕事に着手する。）
（その場所にやってくる。とどく。）
（ものごとく決まる。おさまる。）
○ くつつくこと。

③ ——— から漢字を選んで、次の意味に合う漢字の言葉を作ります。

① 服などをきること。 ……

② ものごとく決まること。 ……

③ 仕事などを始めること。 ……

決・手・付・用

着		着
	着	

① 水などの速いながれ。 ……

② 広く世間にはやること。 ……

③ ある分野で最もすぐれていること。 ……

	流	
流		流

急・行・一・会

1 2 3												頁 行
祝 賀 会 <small>しゅくがかい</small>	悲 願 <small>ひがん</small>	連 帯 感 <small>れんたいかん</small>	信 念 <small>しんねん</small>	良 好 <small>りょうこう</small>	茨 の 道 <small>いばらのみち</small>	結 束 <small>けつそく</small>	熱 中 <small>ねつちゅう</small>	必 死 <small>ひっし</small>	特 訓 <small>とくくん</small>	散 々 <small>さんざん</small>	節 約 <small>せつやく</small>	言 葉
おめでたい出来事や記念日などをみんなで祝う会。		同じ仲間であるという意識。一団となって結束しているという感じ。			とげのあるいばらの生えている道のように、苦しみや困難の多い人生のたとえ。	ある目的のために、人々が心を合わせてまとまること。			「特別訓練」の略。特別にきびしく訓練すること。	ひどいめにあう様子。ずいぶん。ひどく。		意 味

漢字テスト⑮の練習

来週の漢字を書くテスト⑬に出る漢字です。漢字の読み方を書き、三回練習しましょう。



① 招く

② 迷う

③ 夢

④ 独り言

⑤ 個人

⑥ 真面目

⑦ 提供 きょうこう

⑧ 寄る

⑨ 画像

⑩ 植える

植える	画像	寄る	提供	真面目	個人	独り言	夢	迷う	招く
			供						
			供						

漢字を読む⑮

①から⑩まで声に出して読みましょう。

土	日	月	火	水	木	金
---	---	---	---	---	---	---

↑読んだら○をつけましょう。

① 無事に卒業した。

① ぶじにそつぎょうした。

② 週末を利用して登山。

② しゅうまつをりようしてとざん。

③ 仲間と結束を固める。

③ なかまとけつそくをかためる。

④ 目標のために節約。

④ もくひょうのためにせつやく。

⑤ 残念ながら失敗した。

⑤ ざんねんながらしっぱいした。

⑥ 自然に包まれる。

⑥ しぜんにつつまれる。

⑦ 初めての成功。

⑦ はじめてのせいこう。

⑧ 必死に特訓をした。

⑧ ひっしにとつくんをした。

⑨ 勇気と希望がわいてきた。

⑨ ゆうきときぼうがわいてきた。

⑩ 祝賀会に参加する。

⑩ しゅくがかいにさんかする。

☆来週の漢字読みテストの問題です。「漢字の広場2」に出てくる漢字です。
全部、読めるようにしておきましょう。



八	七	六	五	四	三	二	一	場面
								「綾」の前に現れたものや、人物
								「綾」の心情